

令和7年度局区X方針の進捗報告 (令和7年4～8月まで)

令和7年8月20日 第2回X会議

『局区X方針』の概要

「これまで（現状）」から、何を変革する（トランスフォームする）のか
そのトランスフォームした姿（あるべき姿）を実現するために、
今年度の変革課題を明確にして、課題解決の取組みを定めたものが『X方針』

～各局区長等が、経営者目線で自律的な改革の方針を定めて組織内外に発信～

局区長による変革の推進力向上 や 局区の経営意識の向上を図る

局区長のリーダーシップの下、
変革の方針を作成・公開

〇〇局区X方針

- ・使命
- ・変革課題・目標
- ・R7取組み等



① 自己点検

- ・局区長のリーダーシップの発揮
- ・新ビジョンを踏まえ、特に変革が必要な課題（変革課題）の洗い出し
- ・幹部職員の参画

② 変革課題・目標等の設定

- ・局区X方針の公表
- ・市民への丁寧な発信
- ・局区内職員との意識共有

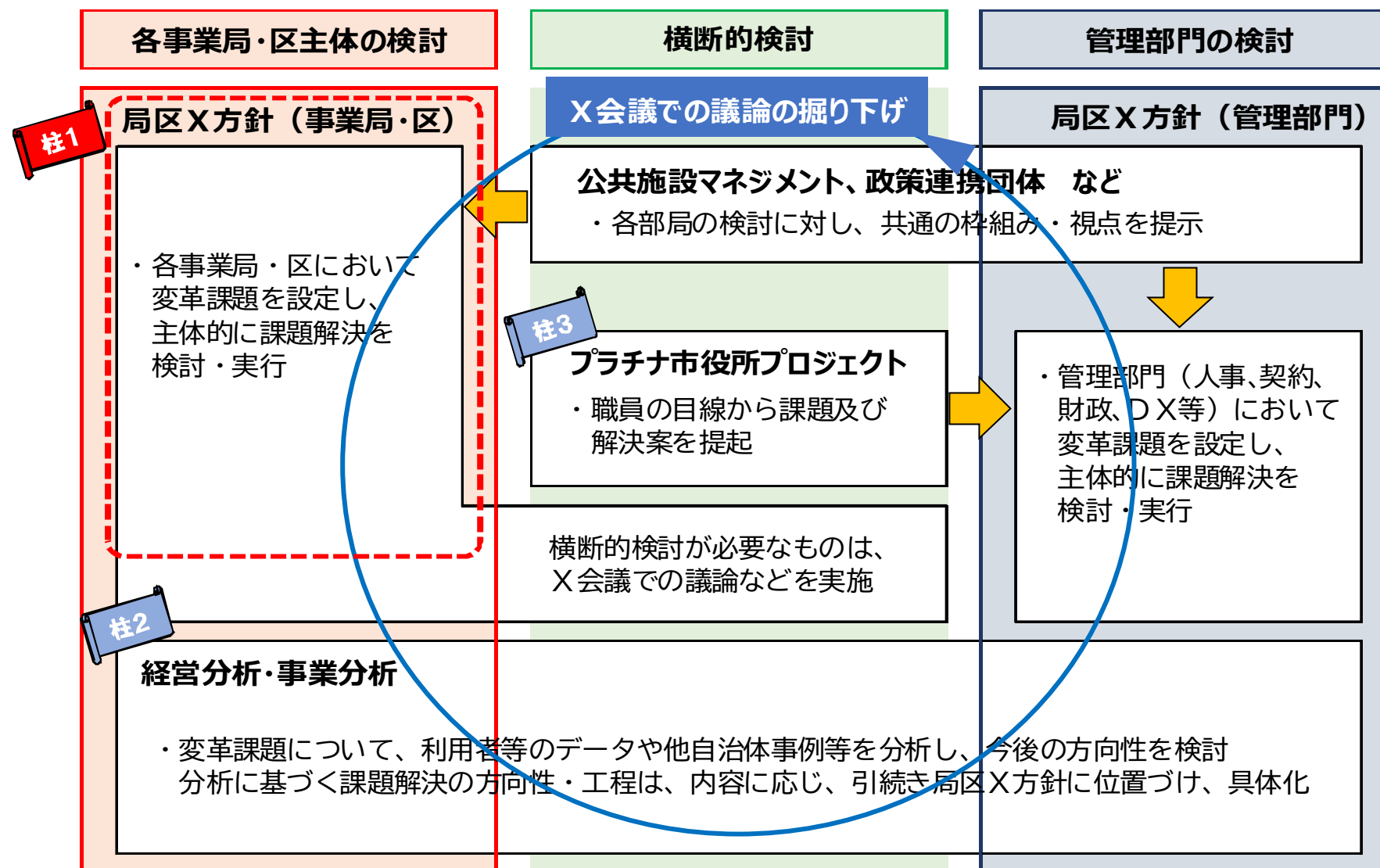
課題解決に向けた
取組み

③ X会議(進捗の公開)

- ・見直しが困難な課題を可視化
- ・データ等を用いて客観的に分析

令和7年度の市政変革全体における『局区X方針』の位置づけ

- ・局区X方針は、令和7年度の市政変革の主たる3つの取組み（3本柱）の1つ。
- ・昨年度の検討・議論を踏まえた本質的な変革課題の設定を重視・徹底。



令和7年度『局区X方針』のポイント・スケジュール

R 7局区X方針のポイント

① 局区長自身の言葉で作成

→ R 6 X方針を振り返った上で、中長期の市政を見据えて、「今掘り下げるべき課題」かつ「今から着手していくもの」を設定

② R 6からの経営分析や政策連携団体見直し、公マネ、プラチナP J等との連動

→ 「課題の内容」や「課題の背景」には、定性だけでなく定量的な視点から、より具体的に記載

③ 「インパクト（政策効果）と緊急度」マトリクスの活用

各課題がどの領域に該当するのか明確にする

④ 以下のような課題を設定しない

- × ゴールやアクションが明らかになってしまっている日常的な業務課題
- × 内容が理念的・抽象的すぎる課題（永遠に見直されない課題）など

スケジュール（予定）

R 7年度					R 8年度
★ <u>5/1</u> ～ R7X方針 ・各局区作成	★ <u>5/23</u> 第1回X会議 ・R7の流れ等を説明	★ <u>7/9</u> 庁内勉強会	★ <u>8/20</u> 第2回X会議 ・全局区X方針 公表 今回	★ <u>1月</u> X会議 ・X方針進捗状況 の確認 進捗確認	★ <u>5月以降</u> (X会議) ・R7X方針の取組結果 公表 結果
作成～公表					

作成過程で生じた問題点

- ・昨年度では、集中的に議論した事業（保育所、文化、公園、市営住宅等）では、本質的な課題設定について理解が進んだ一方で、全ての局区への浸透は途上であった。
- ・そのため、事務局に提出された各局区X方針の当初案では、**設定された課題や取組のレベルに各局区間で差が生じていた。**
- ・課題設定や取組が適切でないと事務局で判断したもの（下記例参照）は、各局区にX方針の再考を依頼しつつ、**『X方針』で設定すべき課題等について各局区の目線を合わせる必要性を認識。**

各局X方針の当初案における指摘事項（例）

- 課題、取組内容が、通常の行政活動の範囲内になっており、変革要素(これまでから何を変えるのか)が無い。
- 昨年度の取組で、踏み込むべき課題が特定したにも関わらず、昨年度と同様の内容のままになっている。
- 課題の切り口が限定的になっており、業務改善などAレベルの取組内容ありきの課題設定となっている。
本質的なB・Cレベルの課題の設定ができていない。
- 設定した課題に対し、取組が小さい(局で現状できることのみ書いている)。最適解になっていない。
- 市政上重要な課題ではあるが、長期的・継続的に進めていく執行課題であり、X方針にはなじまない。など

全局区が適切なX方針を作成するには**変革課題に対する理解のばらつきを是正する**必要あり

変革課題を適切に捉えるための庁内勉強会『局区X方針勉強会』を実施

局区X方針勉強会の概要

開催趣旨： X方針で設定する課題のレベルについて共通理解を図る

主な内容：

① 3分類の課題（探求、変革、執行）について

- ・ 行政が取り組む課題には、「探求課題」「変革課題」「執行課題」の3種類があり、連続的かつ相互補完的な関係性を持つ「課題の進化プロセス」である。
- ・ X方針のB・Cレベルでは、原則として「変革課題」「探求課題」を取り上げるべき。



部局の枠を超えないと、掘り下げるべき課題の見定めや解決策が見出しにくい課題。組織横断的な検討や外部（民間等）の協力を必須とするもの。

→ 全庁的なプロジェクトや、新たな検討体制（タスクフォースなど）を立ち上げて取り組む必要がある。

現状のやり方ではうまくいかない状態に対し、転換やトランスフォームを目指す課題。担当部局が主となって解いていくことが可能なもの。

→ 「これから」は市民に何を提供するのか、「これまでからの転換」を課題に定め、解決の方向性や打ち手を具体化していくもの。

解決の方向性や具体的内容が確定し、予算に基づく実行段階にある課題。または、既存プロセスを前提に日々の「やり切る」改善活動。

→ すでに日常業務に落とし込まれているものは、X方針に記載すべきでない。

② 変革課題を理解するためのケーススタディ

- ・ 変革課題を適切に捉えるため、各局区X方針案で設定されたB・Cレベルの課題の中から、複数の事例をピックアップし、個別具体的な問題点や論点のもとで討議。
- ・ 例えば「重要な仕事であっても、トランスフォームする要素がなければ「執行課題」であり「変革課題」ではないこと」等、共通理解を図った。

③ 探求課題を理解するための事例紹介

- ・ 「探求課題」とは何かを理解し、また局を超えた問題認識を持つことを狙いに、外国人施策や地域コミュニティのあり方を事例に取り上げ、全庁横断的な課題の設定や掘り下げる体制の必要性などを討議した。

勉強会による目線合わせ後

各局区が必要に応じて内容を再考、ブラッシュアップした「X方針」を今回公表

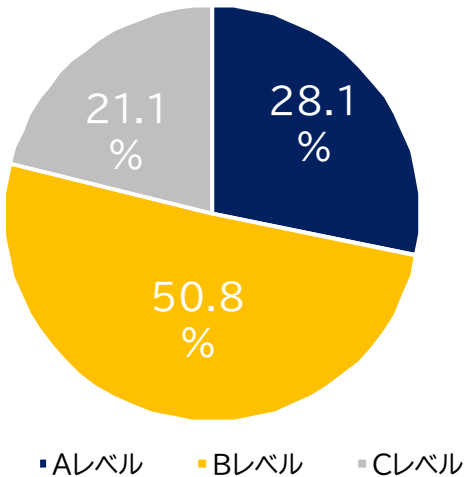
令和7年度各局区X方針の全体状況①(8月20日公表ベース)

- 各局区X方針の課題数は、3件から13件までとなっており、局区によってばらつきがある。
- Aレベル、Bレベルの課題は、27全ての局区で設定。Cレベルの課題は、27局区中、24の局区が設定している。

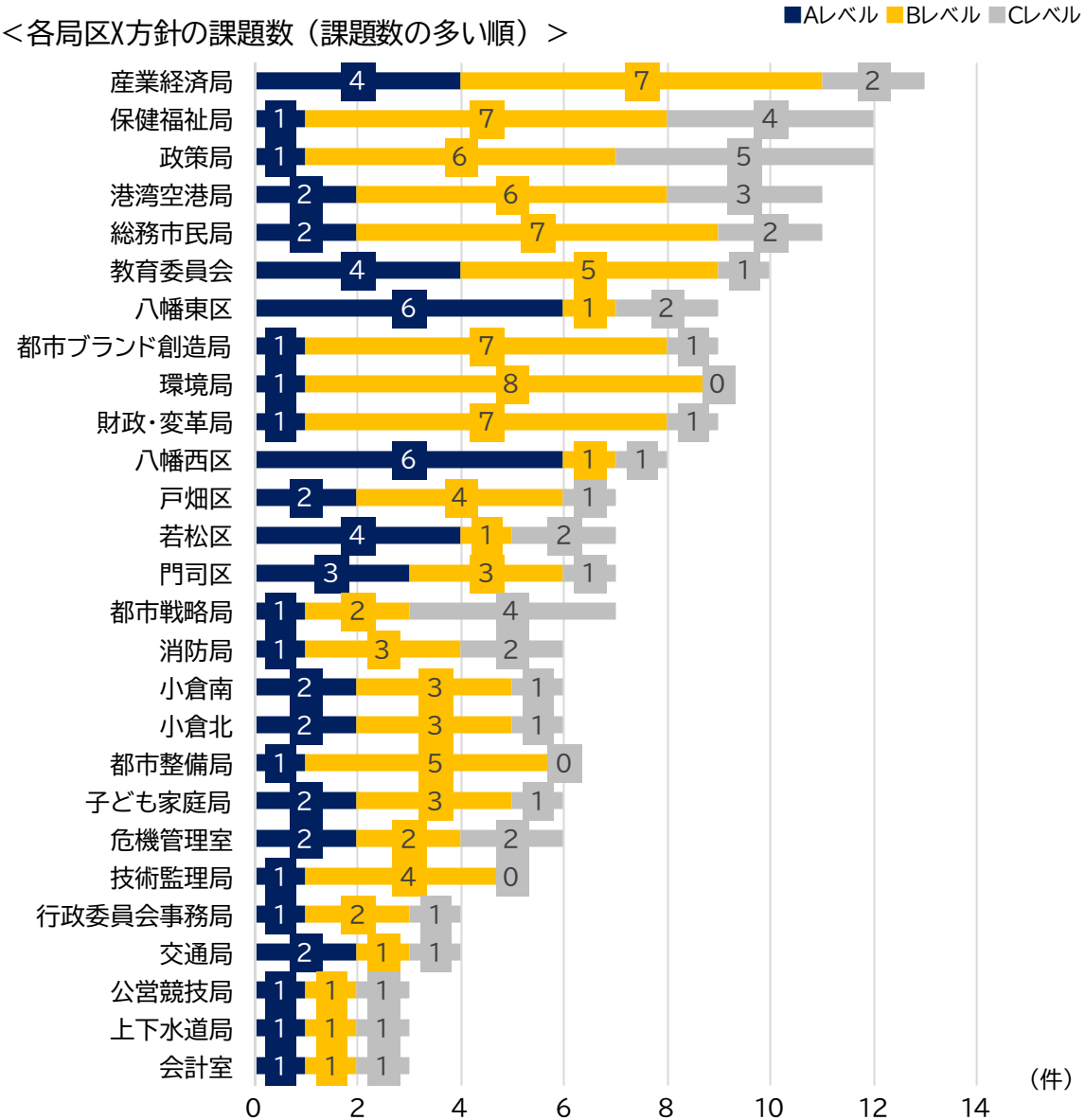
<課題件数(全体)>

課題領域	件数
Aレベル	56件
Bレベル	101件
Cレベル	42件
計	199件

ABCレベルの割合(全体)

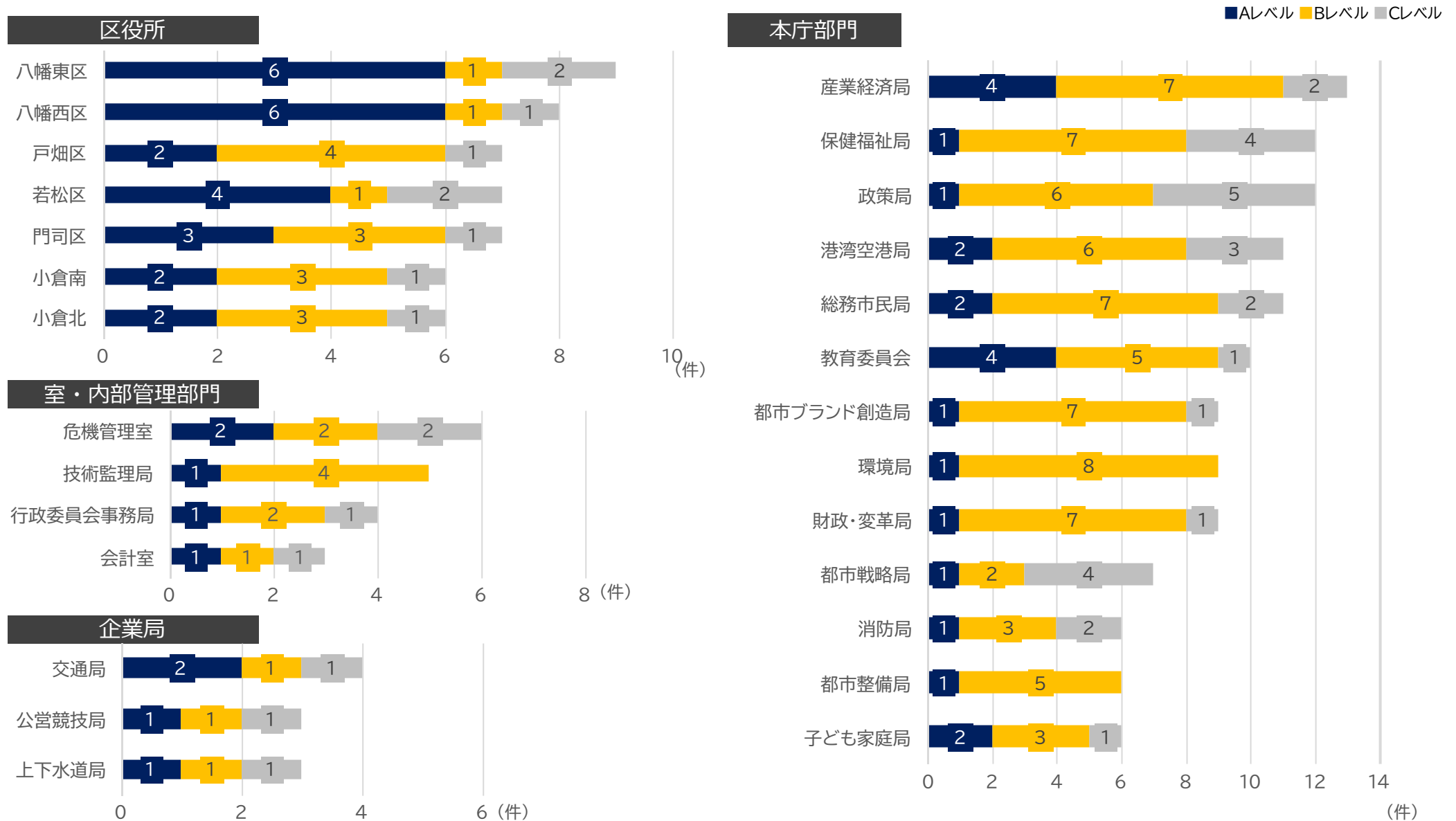


<各局区X方針の課題数(課題数の多い順)>



令和7年度各局区X方針の全体状況②(8月20日公表ベース)

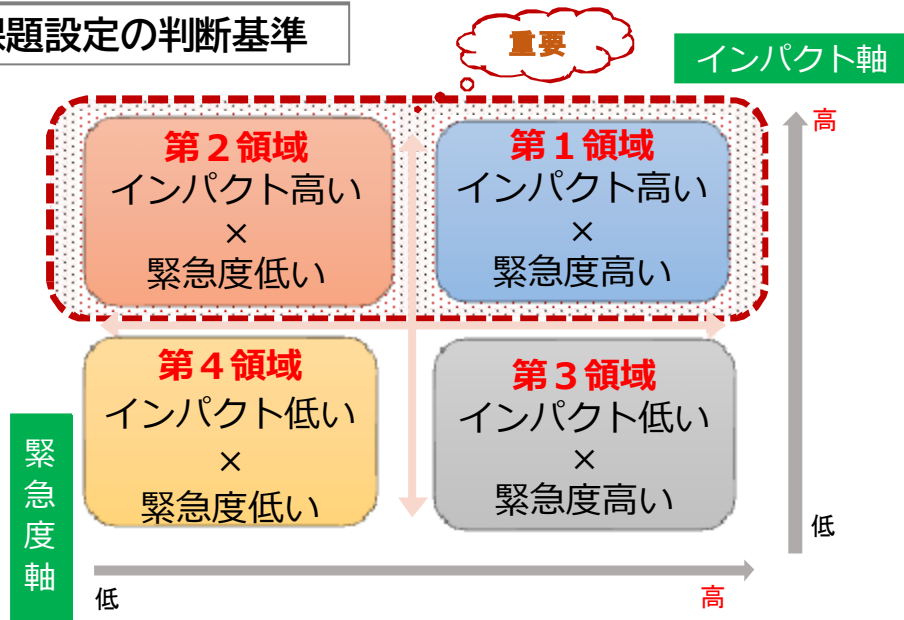
- ・部門別では、本庁部門ではBレベルの課題の割合が高く、区役所ではAレベルの課題の割合が高くなっている。
- ・内部管理部門・企業局では、A、B、Cレベルの課題が比較的同程度の割合となっている。



令和7年度各局区X方針の全体状況③(8月20日公表ベース)

- ・課題総数の内訳では、第1領域が約53.8%を占めている。次に多いのが、第2領域で23.6%で、第3領域、第4領域の順となっている。
- ・A、B、Cレベルでの内訳でみると、Aレベルでは、第1・2・3領域とも同じ割合(30%弱)なのに対し、B、Cレベルでは、第1領域が、50%以上を占めている。なお、B、Cレベルでは、第4領域が、第3領域よりも割合が上回っている。

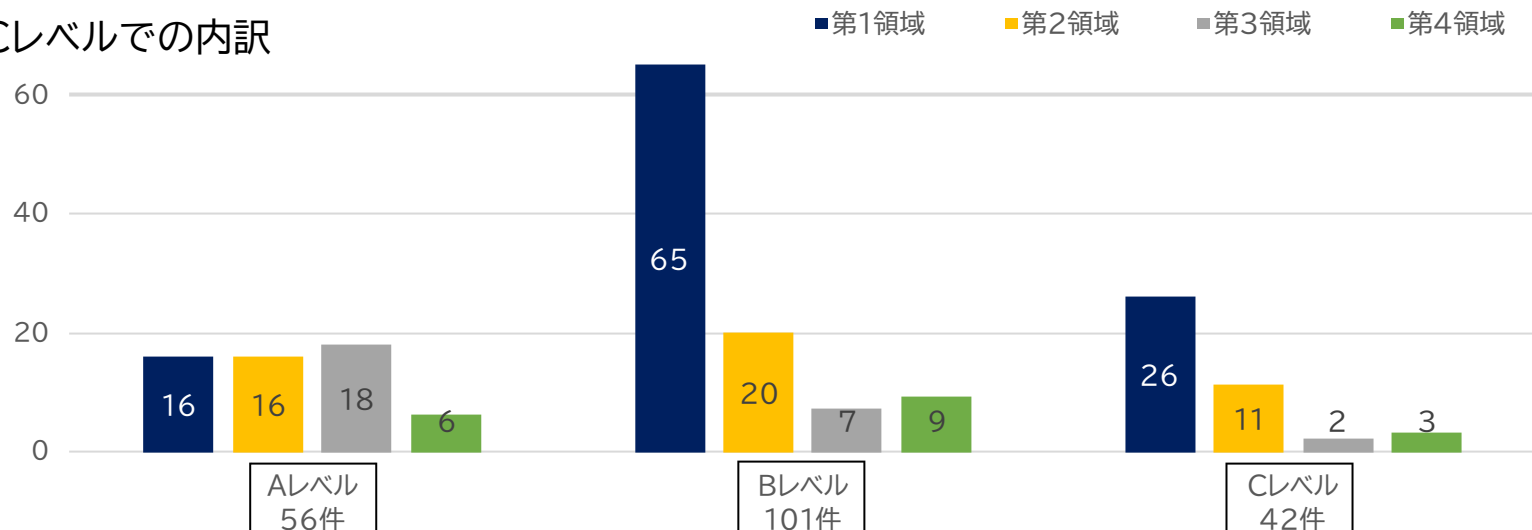
課題設定の判断基準



<課題件数(全体)内訳>

マトリクス領域	課題件数
【第1領域】 インパクト高い×緊急度高い	107件(53.8%)
【第2領域】 インパクト高い×緊急度低い	47件(23.6%)
【第3領域】 インパクト低い×緊急度高い	27件(13.6%)
【第4領域】 インパクト低い×緊急度低い	18件(9.0%)
計	199件

ABCLレベルでの内訳



令和7年度局区X方針の今後の進め方等

○ R 7年度局区X方針をホームページで公表（8月20日）



○ R 7年度局区X方針の進捗状況報告（1月予定）

1 1月末時点でのX方針に記載する取組みの進捗状況を確認し、
R 8年1月開催予定のX会議で報告

今回公表する局区X方針は、各局区の取組みの進捗により、
抽象的な課題がより具体的になった場合や、社会情勢の変化などから、
新たな課題設定や、課題の修正等の必要が生じた場合には、
適宜修正することを想定している
修正等あった場合は、X方針の進捗状況報告の際に、併せて報告を予定



○ R 7年度局区X方針の取組結果公表予定

R 8年度に開催される「X会議（5月以降）」でR 7年度局区X方針の取組結果を公表
R 7年度の振り返りのもと、R 8年度での取り組みを検討・決定する

R7局区X方針

— 課題一覧表 —

課題領域 A

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
財務	(1)会計事務の簡素化・効率化	(1)財務会計システムの機能アップ (2)会計関連ルール、事務処理マニュアルの見直し (3)公共料金の払込書廃止(クレジットカード化) (4)文具類等の物品購入事務の簡素化

課題領域 B

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
財務	(1)市民企業等の利便性向上	(1)デジタル収納の推進 (2)電子請求の導入 (3)債権者登録(会計室)と業者登録(技術監理局)の統合及び電子化

課題領域 C

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
財務	(1)将来に向けた適正かつ効率的な会計事務の確保	(1)会計事務へのAIの活用 (2)調達から請求・支払いまでの一連の事務処理の実現

【凡例】

○課題領域

- A ・行政サービス現場改善にかかる課題
- B ・課題の掘り起こし が済み、変革の実行段階にあるもの
・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの
- C ・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題

危機管理室 X方針 課題一覧

課題領域 A

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
防災	(1)避難所運営体制(本庁応援職員)の見直し	(1)避難所運営体制(本庁応援職員)の見直し ・本庁職員の選定方法の検討(居住地、従事避難所等) ・居住者が少ない地域の担当職員の選定など 課題の整理と対応策の検討 ・本庁職員と区との連絡体制の確立 ・本庁職員の研修・訓練方法の検討
防災	(2)危機管理センターの整備検討	(1)市総合防災訓練の実施による課題の検証 (2)本格稼働に向けて必要な設備等の検討

課題領域 B

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
防災	(1)市職員の防災対応能力の向上	(1)研修・訓練・OJT(BCP等)の体系化・実践化 (2)防災業務に関する専門性の高い職員の育成方法の検討
防災	(2)巨大地震発生時における職員配置体制の整備	(1)巨大地震発生時における職員の配置(臨時参集)体制の検討

課題領域 C

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
防災	(1)新たな担い手の育成等による地域防災力の向上	(1)小中学生・高校生・大学生と地域との連携による新たな担い手の仕組みづくり (2)地域防災を推進する新たな目標設定と効果的な啓発方法や事業の検討
防災	(2)避難行動要支援者に対する避難支援の仕組みづくり	(1)モデル調査の検証を踏まえた改善策の検討 (2)全市展開に向けた課題の整理、準備・調整

【凡例】

○課題領域

A ・行政サービス現場改善にかかる課題

B ・課題の掘り起こし が済み、変革の実行段階にあるもの

・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの

C ・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題

課題領域 A

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
契約事務	(1) 契約事務における競争性と透明性のさらなる向上	競争性のある契約手続きの範囲拡大、事業者が参入しやすい仕組みの構築

課題領域 B

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
公共工事	(1) 働き方改革・生産性向上に実践的に取り組む地元建設業者の拡大	DX化等生産性向上に取り組む地元建設業者の先進事例を収集し、モデルとして広く紹介するなどにより新規参入事業者を支援
公共工事 人材育成	(2) 公共工事等を担う技術職員の人材確保・育成に寄与する、若い世代が成長を実感できる環境づくり	若手や女性職員の声を反映させつつ、技術職員の育成方針の見直し、若手、女性職員交流会の実施、リクルート活動の強化
公共工事	(3) 持続可能なインフラマネジメント	現行の基本計画を見直し、予防保全型維持管理へのシフトや新技術の導入、民間連携など、インフラの将来の維持管理コスト抑制策を強化
契約事務	(4) 契約事務のDX推進	今後予定する新契約システム更新において、会計システムや積算・検査業務との連携を行う。また、契約事務の効率化に資する職員向けHPの体系的見直しを行う

【凡例】

○課題領域

A ・行政サービス現場改善にかかる課題

B ・課題の掘り起こしが済み、変革の実行段階にあるもの

・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの

C ・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題

課題領域 A

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
DX推進	AI・RPA・ローコードツール等による業務効率化の拡大	・生成AIを中心としたAIの徹底活用やkintone等を活用した業務効率化の推進。

課題領域 B

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
計画	広域連携の推進	・実効性のある新たな連携事業に向けて、連携自治体との協議や市役所内での意見交換を実施。
国際	海外でのプレゼンス向上及び外国人に選ばれるまちに向けた国際関連施策の実施	・先進都市へのヒアリング、有識者等の知見の活用及び調査・分析等により海外戦略を策定。 ・海外に向けた情報発信の強化。
政策連携団体	政策連携団体(アジア成長研究所)の在り方	・市の政策実現に向けた団体の役割を明確化し、連携を図る。
政策連携団体	政策連携団体(北九州国際交流協会)の在り方	・市の政策実現に向けた団体の役割を明確化し、連携を図る。
政策連携団体	政策連携団体(アジア女性交流・研究フォーラム)の在り方	・市の政策実現に向けた団体の役割を明確化し、連携を図る。
DX推進	「デジタルで快適・便利な幸せなまち」の実現	・北九州市DX推進計画に定めた取組の実施。

課題領域 C

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
計画	北九州市・新ビジョンの実現に向けた戦略的な政策展開	・R6年度に構築した進行管理スキームのもと、庁内の推進本部や外部有識者による推進会議などを活用し、効果検証を行いながら、新ビジョンの取組を着実に推進する。
計画	世界をリードするサステナブルシティの実現	・「まちの成長と市民の幸福の好循環」を実現する「世界をリードするサステナブルシティ」を目指した戦略を確立する。
計画	女性のリアルな声に基づいたコンフォートなまちの実現	・女性のリアルな声を収集・分析することで女性の抱える課題を把握し、課題解決のための取組を民間やNPO等と連携して打ち出す。
DX推進	DXによる新しい行政へのアップデート	・市役所DXの取組を、広く地域に波及させることで、新たな行政のサービスモデルを創出する。
DX推進	より便利で、より安心なネットワーク環境の提供	・総務省の「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」を遵守し、他都市に先駆けて、より便利で、より安心な情報ネットワーク環境を提供する。

- 【凡例】
- 課題領域
- A ・行政サービス現場改善にかかる課題
- B ・課題の掘り起こし が済み、変革の実行段階にあるもの
- ・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの
- C ・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題

課題領域A

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
働き方改革	(1)フレックスタイム制本格導入	利用者アンケートの実施、 本格実施に向けた制度設計
市民活動	(2)NPO・市民活動の場の発掘	NPOマルシェの内容充実及び周知・告知の強化 NPOデータブックの更新、配布場所の拡大

課題領域B

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
地域振興	(1)地域団体・市民センターへの 依頼事項の整理と負担軽減	・負担軽減を前提とした依頼の考え方の整理 ・廃止・統合の推進・代替支援策の検討・実施
地域振興	(2)地域団体(自治会等)の 事務作業のDX推進	・既存の自治会支援アプリの導入支援 ・支援ツールに関するニーズ 調査・事例研究・作成
地域振興	(3)地域団体(自治会等)が外部の 力を活用できる体制の構築	・外部の力、ノウハウ活用分野の把握 ・外部を活用する仕組み・環境づくり
市民セン ター	(4)地域の拠点として多世代が 利用しやすいサステナブルな 市民センターに向けた環境整備	予約システムの導入、日曜開館の拡大、 運営体制の見直し検討
組織体制	(5)区政強化のための新たなスキ ームの検討	区民ニーズの把握や区の特徴を生かした事業推 進体制の整備、区政推進関係課会議の新設
人財戦略	(6)人材確保・育成	多様で有為な人材の確保及び職員の成長を促 す人材育成
安全安心	(7)客引き行為への対策	重点地域拡大への対応

課題領域C

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
庁舎管理	(1)本庁舎の建て替え	他都市の事例研究、課題の抽出
生涯学習	(2)生涯学習センターのあり方検討	施設の老朽化、稼働率、本質的なあり方

【凡例】

○課題領域

A ・行政サービス現場改善にかかる課題

B ・課題の掘り起こし が済み、変革の実行段階にあるもの

・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの

C ・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題

課題領域A

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
税務	来庁者が好感を持ち、職員も安心して働ける税務窓口の実現	・ オンラインアンケートの実施とフィードバック ・ 接遇マニュアルの活用による職員の個別点検・改善とカスハラ対応の組織的体制づくり

課題領域B

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
財務	市政変革と連動した令和8年度予算編成方針	・ X方針や経営分析を予算要求に反映させるための仕組みづくり
市政変革	公共施設マネジメントの推進	・ 利用者目線での課題洗い出し ・ 利用者ニーズに合わせた施設の最適化の検討
市政変革	市と政策連携団体の連携体制の確立	・ 各団体の役割見直し(再定義) ・ 市と政策連携団体の連携に関するルール見直し ・ 団体の自律的改革の実行支援
市政変革	未利用市有地等の売れる化・使える化	・ kintoneを活用した伴走型支援と効率的な予算再配当によるスピーディーな未利用地の活用 ・ 売却に不向きな未利用地等の有効活用
税務	市税事務所改革	・ 税務組織の体制強化 ・ 手続き・窓口のオンライン化推進
税務	税收構造の見える化、税收増加策の検討	・ 税務データを抽出・分析する手法の確立 ・ 事業の税收への影響の検証、税收増加につながる政策立案へ寄与
財務・税務 市政変革	市民にわかりやすい広報・周知	・ 財政状況等に関する市民の理解度調査の実施 ・ 情報発信におけるアプローチ強化

課題領域C

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
財務・税務	将来にわたる持続可能な財政の確立	・ 市債残高等の改善(政令市平均レベル) ・ 基金残高の必要規模の維持

【凡例】

○課題領域

A ・行政サービス現場改善にかかる課題

B ・課題の掘り起こし が済み、変革の実行段階にあるもの

・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの

C ・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題

保健福祉局 X方針 課題一覧

課題領域 A

行政サービス現場改善にかかる課題

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
DX	「スマらく区役所」推進による区役所窓口等の改革と事務集約化	【本庁(業務所管課)】 ・局内に区役所業務改革等を検討するプロジェクトチームを設置し、施策の枠を超えた現状調査と課題分析(横串での検討～課題の見える化)を経て取り組むべき施策を立案、実行 【保険年金課・区役所国保年金課】 ・システム標準化を契機とした、業務の集約化、組織体制等の抜本的な見直し 【介護保険課・区役所保健福祉課(介護保険係)】 ・手続きのオンライン化 ・バックヤードへの業務集約 【区役所保健福祉課(精神障害者保健福祉手帳、自立支援医療(精神通院)、特定医療費(指定難病))】などのその他の窓口 ・バックヤードへの集約事務及び外部委託化等の事務の整理 ・先行実施している他都市調査や現行マニュアルや業務フローの標準化

保健福祉局 X方針 課題一覧

課題領域 B

- ・課題の掘り起こしが済み、変革の実行段階にあるもの
- ・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
高齢者福祉 地域福祉	(1)人生100年時代に向けた長寿社会対策の強化と再編	・社会構造の変化に伴い、支援や対応が必要な高齢者の増加が見込まれる中、高齢者を対象とした既存事業の見直しも含め、新たな支援のあり方について検討していく。 ・年長者研修大学校、生涯現役夢追塾における人材育成のあり方について、有識者の意見を聞きつつ、今後の課題に対応できるような再編に向け検討を行う。 ・人生の終末期における様々な課題や不安に向けあらかじめ備える、いわゆる「終活」や権利擁護、成年後見などについて、関連の民間事業者等と連携しながら、高齢世代をはじめとした市民にどのような情報や支援を提供することができるか検討を進める。
高齢者福祉	(2)認知症の早期発見と効果的な介護予防活動につなぐ仕組みづくり	・早期発見・早期対応の取り組み及び周知啓発の強化(認知機能チェックを含む「測定会」の実施など) ・介護予防と高齢者の健康づくり事業について、対象者像や実施手法、実施主体、目指す効果などを改めて比較分析し、再編に向けて検討する。
高齢者福祉	(3)データに基づく高齢者の地域生活支援の充実	・生活支援・介護予防に関する社会資源の情報のデジタル化や今後の利活用に向けて、スタートアップとの協働などを含めて検討を進める。
医療	(4)市民が安心して医療を受けられる政策医療体制の再構築	・市全体の医療のあり方や官民の役割等を、医療関係者等で構成する会議で、議論・検討する。
障害福祉	(5)障害のある人の社会での活躍を一層進めるための施策検討	・企業に対して、障害者雇用のノウハウやメリット、合理的配慮などの周知啓発を強化し、障害者雇用の拡大に向けた効果的な取り組みを検討する。
公マネ	(6)年長者いこいの家(公共施設マネジメント)	・市全体の公共施設のあり方の見直しの動きや老朽化の度合い、地域の意向等を踏まえ、方向性を検討する。
政策連携 団体	(7)北九州市福祉事業団(政策連携団体)	・法人内に「法人改革推進本部」を設置し、法人改革を実施。 ・市の局長と団体理事長との意見交換会を実施 ・関係課長会議を実施。

課題領域C 将来を見据えて、今から着手しなければならない課題

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
地域福祉	(1)地域共生社会の実現に向けた新たなつながりづくりの検討	・地域団体と関係団体の連携・共同支援を進め、セーフティネットを強化するための重層的な支援体制を整備する。
障害福祉 (局間連携)	(2)障害の有無にかかわらず施策の実施に向けた「包摂的」な組織改革	・障害者雇用の拡大に向けた関係部局を含めた体制の強化。 ・文化芸術、スポーツにおける活動の拡大に向けた関係部局を含めた体制の強化。
人材確保 人材育成	(3)介護・医療・福祉人材が育ち、集まるまちづくり	・介護未経験者と事業所とのマッチング。 ・外国人介護人材の資格取得支援及び職の定着支援。 ・介護職員にとって働きやすい職場の実現。 ・看護職員の人材確保対策について、情報収集や関係団体等と協議。
生活衛生	(4)食肉センターの老朽化対策と経営の見直しに関する検討	・食肉センターの今後のあり方を検討。

子ども家庭局 X方針 課題一覧

課題領域 A

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
児童虐待	(1)児童虐待に対する効果的・効率的な対策の実施	(1)子ども総合センターの児童福祉司の区役所への配置 (2)児童虐待対応について、DXの活用による支援
局全体	(2)「市民の声」に対応した子育て支援施設等の早期改善の実施	(1)利用者インタビュー及び施設点検を実施 (2)市民アンケートの実施と関係課への情報共有

課題領域 B

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
保育	(1)保育現場の負担軽減等	(1)保育補助者雇上強化事業の実施 (2)北九州市独自の子育て支援員研修の実施 (3)保育現場におけるDXの推進や新たな課題の把握等
子育て支援	(2)児童館内放課後児童クラブの学校敷地内移設の推進	・放課後児童クラブ移転に関する意向調査 ・小学校状況調査結果を踏まえ個別計画を策定 ・放課後児童クラブ運営団体と移設に向けた協議 ・放課後児童クラブ移転後の児童館について、用途廃止に向けた協議 ・こどもの居場所の確保(市民センター等の活用)に向けて市関係部局と協議
子育て支援	(3)青少年施設のリニューアル及び拠点集約化	(1)民間活力導入に向けた事業手法の検討(青少年施設リニューアルプロジェクト)

課題領域 C

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
保育	(1)多様化する保育ニーズへの対応	(1)民間施設への支援強化等の方策を検討 (2)直営保育所の整備のあり方を検討

【凡例】

○課題領域

A ・行政サービス現場改善にかかる課題

B ・課題の掘り起こし が済み、変革の実行段階にあるもの

・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの

C ・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題

課題領域 A

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
業務改善	(1)ペーパーレス化・AIの活用推進	(1)ペーパーレス化の推進 (2)AIの活用推進

課題領域 B

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
市民環境力の強化	(1)魅力があり利用しやすい環境学習施設のあり方の検討	(1)施設のあり方の検討
市民環境力の強化	(2)市民環境力の醸成に向けたエコライフステージやESD協議会のあり方の検討	(1)エコライフステージのあり方の検討 (2)北九州ESD協議会の活動のあり方の検討
サステナ	(3)世界をリードするサステナブルシティの実現に向けた環境施策のアップデート	(1)環境施策の棚卸とアップデート
循環経済システムの構築	(4)排出事業者の意識改革による事業系ごみの減量・リサイクルの促進	(1)排出事業者に対する意識改革とリサイクルの推進
循環経済システムの構築	(5)持続可能な社会の実現に必要なごみ処理体制のあり方の検討及び周辺自治体との連携について	(1)ごみ処理施設のあり方の検討 (2)周辺自治体との連携
市民環境力の強化	(6)地域コミュニティの視点も踏まえたごみステーションのあり方の検討	(1)地域コミュニティの視点からのごみステーションのあり方検討と支援強化
環境国際ビジネス拠点化	(7)(公財)北九州国際技術協力協会のあり方の検討	(1)団体の機能強化に向けた協議及び強化策の検討
循環経済システムの構築	(8)(公財)北九州市環境整備協会の安定的な体制の維持	(1)ごみ収集部門をはじめとする安定的な体制の維持

【凡例】○課題領域

- A ・行政サービス現場改善にかかる課題
- B ・課題の掘り起こし が済み、変革の実行段階にあるもの
・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの
- C ・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題

課題領域 A

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
業務効率化	(1) デジタル技術の活用による業務効率化	デジタル技術の導入に加え、オフィス改修等の環境整備に取り組む。
業務効率化	(2) データマネジメントによるビジネス戦略と業務の効率化	農地情報のリスト化など、必要な市民がその情報にアクセスできるよう、整備を行う。
業務効率化	(3) 行政サービスの向上	HPによる的確な情報発信やオンライン申請への対応を進める。
人材育成	(4) 職員の育成	民間企業と伍して渡り合うことができる職員の育成に向けて、局内研修を実施する。

課題領域 B

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
産業振興 未来戦略	(1) 雇用施策のあり方	雇用施策を検討・決定するにあたり、部局横断的に取り組むとともに、「官民」の認識を合わせ、相互の知識やアイデアを施策に活かせるよう取り組む。
公共インフラ	(2) 中央卸売市場の再整備	民間活力導入の可能性を検討するとともに、市場内の関係者との意見調整を進める。
公共インフラ	(3) 漁港を活用したにぎわいの創出（協田地区）	協田地区の活性化へ向け、実施主体となる漁協や民間事業者等と意見交換を実施する。併せて、施設の管理運営のあり方についても検討する。
公共施設マネジメント	(4) 農業用ため池	整理ができ、廃止が可能なため池から有効活用（売却）を行う。
産業振興 未来戦略 政策連携団体	(5) 北九州学術研究都市と北九州産業学術推進機構の機能強化	令和7年2月に策定した「G-CITY戦略」に基づき、FAISのあり方（事業手法、経営手法等）を含めて見直しを進める。
政策連携団体	(6) 北九州貨物鉄道施設保有（株）	北九州貨物ターミナル駅の適切な維持管理・改良やPRを行う。
政策連携団体	(7) （株）北九州輸入促進センター	全市的な政策連携団体の検討に合わせた議論を進める。

課題領域C

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
公共インフラ	(1) 渡船事業(若戸渡船)の経営改善	早期に着手できる収益改善に係る取組みや長期的な経営改善策、イメージアップについて検討する。
公共施設マネジメント	(2) 北九州市立商工貿易会館	当該施設の活用にあたっては、産業経済局と都市戦略局が保有する施設の課題を整理し、一体的な土地・建物の活用方法について、協議を進める。

【凡例】

○課題領域

A ・行政サービス現場改善にかかる課題

B ・課題の掘り起こし が済み、変革の実行段階にあるもの

・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの

C ・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題

都市ブランド創造局 X方針 課題一覧

課題領域A 行政サービス現場改善にかかる課題

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
文化 観光・MICE スポーツ	(1)ユーザー目線を踏まえた現場改善	(1)定例的に利用者のニーズを把握するとともに、課題を整理して改善する仕組みづくり

課題領域B 課題の掘り起こしが済み、変革の実行段階にあるもの 課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
文化	(1)博物館系施設の付加価値向上	(1)専門家等による検討会議の開催
文化	(2)ホール系施設の効果的な運用	(1)利用ルール見直し (興行開催の強化・市民利用の促進) (2)利用料金制導入の検討
文化	(3)政策連携団体の見直し (芸術文化振興財団の体制強化)	(1)中長期計画(組織変革プラン)の策定
観光・MICE	(4)交流人口の増加による「稼げるまち」の実現	(1)「観光都市」としての認知度向上 (2)付加価値の高い観光サービスの提供(観光コンテンツのエンタメ化) ほか
観光・MICE	(5)観光コンベンション施設のあり方(ソフト)	(1)観光施設の利用料金の改定に向けた検討
観光・MICE	(6)政策連携団体の見直し (観光コンベンション協会、皿倉山登山鉄道)	(1)人材育成計画策定に向けた検討 (2)民間人材登用に向けた検討
スポーツ	(7)スポーツによる「稼げるまち」の実現	(1)大規模国際スポーツ大会等でのミールクーポンのDX化 (2)観光イベント等と連携した市内周遊促進 (3)効率的で持続可能な組織体制の構築 (4)スポーツによる「稼げるまち」の推進に向けた課題の掘り起こし(新たな施策の検討)

課題領域C 将来を見据えて、今から着手しなければならない課題

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
文化 観光・MICE スポーツ	(1)施設のあり方(ハード)	(1)旧九州厚生年金会館の老朽度調査 (2)JR小倉駅新幹線口のコンベンション施設のあり方検討(西展、国際会議場) (3)皿倉山ケーブルカー・スロープカーにかかる移送手段等の検討 (4)スポーツ施設のあり方検討

課題領域 A

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
DX推進	(1)DXの推進	(1)長期優良住宅認定申請のオンライン化 (2)建築確認申請等のオンライン化 (3)建築確認情報のデータベース整備・システム構築とオンライン化

課題領域 B

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
都市再生	(1)都市機能の更新とまちの魅力向上	(1)都市デザインの策定等 (2)産業振興、観光振興や防災性向上に資するまちづくりを優先度を踏まえ推進
都市再生	(2)利用者目線による公園の魅力向上	(1)公民連携へのシフト (2)誰もが使いやすい公園づくり (3)公園や公園施設の“最適化”（ボリューム、機能）

課題領域 C

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
都市計画 都市交通	(1)将来にわたる公共交通の維持・確保	(1)公共交通の再構築(リ・デザイン) (2)まちなかへの移住を推進するための支援制度の活用と有効な支援制度の検討
都市計画 都市交通	(2)まちなか居住の推進とまちの魅力向上	(1)まちなかへの移住を推進するための支援制度の活用と有効な支援制度の検討 (2)公共交通の再構築(リ・デザイン) (3)居住誘導の検討
都市計画 都市交通	(3)北九州モノレールの安定的な経営基盤の確保	(1)北九州市と北九州モノレールが一体となった中期経営計画の着実な推進 (2)公共交通の再構築(リ・デザイン) (3)まちなかへの移住を推進するための支援制度の活用と有効な支援制度の検討
都市再生	(4)「到津の森公園」の更なる魅力向上に向けた運営体制の強化	(1)専門家を活用した運営体制の強化

【凡例】

○課題領域

- A ・行政サービス現場改善にかかる課題
- B ・課題の掘り起こし が済み、変革の実行段階にあるもの
・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの
- C ・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題

課題領域 A

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
DX推進	(1)区役所まちづくり整備課 における窓口業務の 効率化・業務改善の検討	(1)窓口業務(一部)の民間委託化に向けた検討

課題領域 B

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
公園事業	(1)利用者目線による 公園の魅力向上	(1)公園の魅力を引き出す公民連携へのシフト (2)誰もが使いやすい公園づくり (3)継続的・効率的な維持管理体制の確保 (4)公園・公園施設の最適化
市営住宅 事業	(2)持続可能な 住宅セーフティネットの提供	(1)市営住宅マネジメント取組方針の策定 (2)外壁改修の最適化と維持管理 (3)建物付き売却やサブリース等に向けた準備
政策連携団体 関連	(3)今後の北九州市住宅供給公社 の利活用	(1)今後のあり方検討ワーキングの開催 (公社のあり方や組織体制などの検討) (2)公社の持続可能な賃貸経営の検討
維持管理 (道路)	(4)道路橋等の 効率的・効果的な維持管理	(1)包括的民間委託の試行 (2)-① 常盤橋のあり方検討 (2)-② 若戸大橋の長寿命化対策の推進
維持管理 (道路・河 川・公園)	(5)雑草対策の構造改革 (除草主体から防草への転換)	(1)道路における雑草対策の推進 (2)新たな雑草対策(性能規定型発注等)の検討 (3)公園における雑草対策の推進 (4)河川における雑草対策の推進

【凡例】

○課題領域

A ・行政サービス現場改善にかかる課題

B ・課題の掘り起こし が済み、変革の実行段階にあるもの

・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの

C ・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題

課題領域A

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
港湾	(1)港湾管理に係るサービスの向上	(1)施設使用料納付書等の電子化(DX)による利便性の向上 (2)港湾事務の電子化(DX)による事務効率の向上 (3)指定管理第3期(R10d~)について「業務範囲の拡大」及び「指定管理料」を検討
港湾	(2)保有する未利用地の把握及び低未利用地を含めた資産の有効活用	(1)低・未利用地を売却促進するための調査および対策の検討

課題領域B

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
港湾	(1)北九州埠頭株式会社による港湾管理に係るサービスの向上	(1)施設点検業務にドローンを活用した作業効率と安全性の向上 (2)港湾事務の電子化による利便性と効率性の向上 (3)専門人材の育成
港湾	(2)港の稼ぐ力の強化	(1)新門司地区における新規ROROターミナル整備のための基本設計及び用地取得手続き (2-1)太刀浦泊地の埋立(公有水面埋立免許取得に向けた基本設計) (2-2)太刀浦泊地の埋立(公有水面埋立免許取得に向けた環境アセスメント(現況調査)) (2-3)太刀浦泊地の埋立(既存岸壁利用者との移転等についての調整) (3)将来的な北九州港の機能強化に必要な新たな港湾施設整備等の検討
港湾	(3)門司港レトロ地区の未利用地を活用した賑わい空間の創出	(1)民間活力の導入による集客施設の開発準備
洋上風力	(4)洋上風力浮体式総合拠点の開発方針の決定	(1)浮体式総合拠点開発方針を決定するための、必要なスペックや開発手法の分析・検討
空港	(5)北九州エアターミナル株式会社の健全な運営による空港の発展	(1)北九州エアターミナル株式会社の健全な運営の維持とターミナル施設の整備
空港	(6)空港の稼ぐ力の強化	(1)「朽網駅特急ルート」の運賃割引キャンペーンや利用状況の分析・評価による利用促進 (2)年間を通じた空港内でのイベント実施等による魅力の向上 (3)エプロンの拡充、燃料供給能力の増強等の新たな基盤整備に向けた、関係者等との調整

課題領域C

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
港湾	(1)ひびき灘開発の事業のあり方の検討について	(1)既存の受入廃棄物のデータ分析や排出量の将来推計の検討 (2)株主等ステークホルダーとの協議、情報共有 (3)造成した産業用地の企業ニーズに対応した各種施策の提案
港湾	(2)施設老朽化に対する維持管理対応及び利用転換・民間投資活用	(1)施設の健全度や利用状況等を考慮した予防保全型の施設維持管理の実施 (2)地区別の特性を踏まえた、施設や土地の集約・利用転換等に関する将来利用方針の検討 (3)民間活力を活用した施設再編の検討
港湾	(3)砂津地区の未利用地等を活用した賑わい空間の創出	(1)未利用の大規模民有地や港湾施設の活用に向けた調整等

【凡例】

○課題領域

A ・行政サービス現場改善にかかる課題

B ・課題の掘り起こし が済み、変革の実行段階にあるもの
・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの

C ・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題

課題領域 A

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
市民サービス向上	(1)来庁せずに利用可能な行政サービスの広報と市民窓口サービスの充実	・「おくやみコーナー」のワンストップ化の試行実施を行う。
市民サービス向上	(2)区役所案内サインの更なる充実	・門司区役所来庁者の声を反映させた案内サインを設置する。
市民サービス向上	(3)窓口業務のDX化に関する課題の把握と各システム更新に向けた改善データの蓄積	・地域総括補助金の申請アプリ(キントーン)を作成し、補助金申請の際の負担を軽減する。 ・区DX化推進会議を設置し、ペーパーレス化等の推進やミスが生じやすい環境にある業務について、本庁所管課とシステム改修に向けた協議等を行う。

課題領域 B

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
地域振興	(1)若者、地域、民間の連携推進による活性化	・門司区内の祭りや文化活動を、観光客向けのアクティビティとして企画・伴走支援を行う。 ・空き家等を再生・活用してエリアマネジメントを行う「まちづくり会社」の設立に向けた事業計画の策定等を支援する。 ・高校生や大学生等が行う地域資源を活かしたまちづくり政策提案に関する取組みを支援する。
地域振興	(2)地域のブランド力強化に向けた取組み	・新たな特産物となる食材等の発掘・開発・普及や、地域のキーマンとして主体的に活動する人や団体に対し、伴走型の支援を行う。 ・下関市との協働イベント等により「関門」ブランドの強化を図る。
地域振興	(3)地域コミュニティの活性化	・自治会が必要とする人材と地域貢献したい人をつなぐボランティア募集サイトの構築等を支援する。 ・地域で活躍する人材にスポットを当てた情報発信を企画し、実施する。 ・防災に強い人材を育成するため、児童・生徒を中心とした体験型の防災教育を実施する。

課題領域C

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
地域振興	(1)今後の持続的なまちづくりの最終目標に向かっていく小目標の設定	小目標として、以下を設定する。 ・ウォーカブルなまちづくりのため、歩道・遊歩道の機能低下状況を把握し、機能回復・保全に向けた整備内容を決定する。 ・アーティスト等に対し、門司区への移住や二地域居住拠点として選ばれるよう広報を行う。 ・複合公共施設への移転後の現門司区役所の活用方法について、地域の若者や利用者を中心に意見を求める。 ・防災教育を通じて、自然と共生するための知識の習得等を支援する。 ・観光と居住の一体化の推進により、移動手段について調査等を行う。

【凡例】

○課題領域

- A ・行政サービス現場改善にかかる課題
- B ・課題の掘り起こし が済み、変革の実行段階にあるもの
 - ・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの
- C ・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題

課題領域 A

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
まちづくり	(1)多様な人々が気軽に交流できる地域づくり	・これまでの地域活動への支援に加え、子育て層や若者など多様な人々が気軽に参加できる地域の文化・スポーツ振興に向けた支援を行う。 ・子育て世代が、地域活動に参加するきっかけ・接点を増やすため、市民センターへの来所頻度のアップを促す事業を試行する。
区役所改革	(2)市民サービス向上やまちづくりにつながる業務改革・環境改善	・区役所諸手続きにおいて、より市民にとってストレスのない窓口の実現に向け、予約システムやオンライン申請のシステムや運用の改善・拡大について提案し、スマラク区役所の先行モデルを目指す。 ・区役所の事務処理等において、AI活用の推進や各種手続きの簡略化などを提案し、モデル的に試行する。 ・庁舎環境の再点検を進め、市民目線での案内サインづくりや動線の見直しなどを行う。 ・職員の人材育成として、他区とも連携し、政策立案力の向上に向けた実践的な研修を実施する。

課題領域 B

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
まちづくり	(1)地域の実情に応じた地域づくりへのサポート	・地域の実情・ニーズについて、調査分析を行い、それぞれの特性に応じた支援メニュー等を研究する。 ・地域活動に、新たな外部マンパワーの参画を促進するため、自治会等と企業等の双方のニーズや条件等の調査研究を行う。
まちづくり	(2)地域における外国人との共生	・市内で最も外国人住民の多い小倉北区において、外国人住民が地域コミュニティと共生できるよう、啓発事業や交流事業などのモデル事業を試行する。
観光大都市への進化	(3)小倉北区内の観光資源の掘り起こし・情報発信の強化、並びに区の垣根を超えた周遊観光の促進	・小倉北区は、メジャーな観光スポットや歴史資源等が多くあり、小倉南区には豊かな自然と豊富な地元食材がある。観光大都市としての更なる魅力向上につなげるため、地域やまちづくり団体等と連携しながら、小倉北区・南区の地域資源をさらに発掘・洗い出しを進め、小倉南北で連携した周遊企画をモデル実施する。

課題領域C

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
区役所改革	(1)小倉北区役所庁舎のあるべき姿の実現に向けたプランづくり	・市民目線を最優先し、職員の柔軟な働き方が可能となる区役所の実現に向けて、未来志向で区役所庁舎のあるべき姿について研究し、プラン素案づくりに着手する。

【凡例】

○課題領域

- A ・行政サービス現場改善にかかる課題
- B ・課題の掘り起こし が済み、変革の実行段階にあるもの
 - ・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの
- C ・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題

課題領域 A

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
市民サービス	情報発信ツールの見直しと発信体制の構築	区役所利用者、区民、観光客等に戦略的に情報を発信するための体制の整備
地域コミュニティ	校区担当制の浸透と定着	担当職員による校区等の訪問及びコミュニケーションの強化

課題領域 B

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
市民サービス	現役世代・子育て世代のニーズに合わせた柔軟な市民センターの運営(日曜開館の検討等)	モデル校区を選定し、「市民センターのあり方に関するアンケート調査(仮)」の実施
地域コミュニティ	地域特性に応じた新たな持続可能な地域コミュニティの形成	- 地域情報交換会の開催 - 全校区キャラバンの実施と校区カルテの作成
地域資源活用	地域資源の活用と人材育成	- 本庁施策に「地域の力」を活用(X地域:クロス地域) - 区役所職員による地域へのダイブと地域資源の掘り起こしや磨き上げ

課題領域 C

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
市民サービス、地域コミュニティ、地域資源活用	区役所の一步先の価値観を体現する「未来型区役所」のデザイン	- 企画・政策立案機能の強化(地域資源の活用) - 持続可能な新たな地域コミュニティの形成 - 庁舎内の余裕空間の活用等の調査

【凡例】

○課題領域

A ・行政サービス現場改善にかかる課題

B ・課題の掘り起こし が済み、変革の実行段階にあるもの

・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの

C ・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題

若松区 X方針 課題一覧

課題領域A

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
市民サービス	(1)市民にとってわかりやすい区役所づくり	・区役所庁舎内の案内表示の点検・改善。
市民サービス	(2)市民も職員も一目でわかる保育所の申し込みなど申請書類の名称	・(電子申請化時の)市民が分かりやすい電子申請用フォームの提案。
市民サービス	(3)障害者手帳、障害福祉サービス等の手続きの郵送申請の促進	・障害者手帳の手続きの郵送申請の促進。
市民サービス	(4)窓口サービスの持続可能な提供体制の維持	・良好な窓口サービスを継続するため、区役所職員の年齢編成を適切なものへ順次進める。

課題領域B

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
まちづくり	(1)持続可能な「地域ケア研究会」の取組	・地域を支える関係者のネットワークの強化などに向け、関係者のニーズを把握し、効果的な開催方法等を検討。

課題領域C

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
まちづくり	(1)若松北海岸の観光地化	・観光地化に必要な施設整備等の検討。 ・地元事業者によるにぎわいづくりの促進。
まちづくり	(2)市民センターの運営の在り方の検討・見直し	・地域の関係団体との会議等を通じて、課題の洗い出し、好事例等の共有を行う。また、多世代が交流する講座を検討、実施。

【凡例】

○課題領域

A ・行政サービス現場改善にかかる課題

B ・課題の掘り起こし が済み、変革の実行段階にあるもの

・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの

C ・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題

八幡東区 X方針 課題一覧

課題領域A

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
感動区役所	(1) 接遇と空間改善	(1) 区役所接遇マニュアル・スローガンの職員への浸透 (2) 庁内サイン等をリニューアルし、来庁者がまた来たくなるような感動空間の創出 (3) 来庁者アンケートの実施
感動区役所	(2) 内部事務の効率化・見直し	(1) 内部事務の電子化 (2) 会議の効率化
感動区役所	(3) 地域の活力を高める情報発信	(1) 機動的な情報発信の構築 (2) 市民に刺さる情報発信 (3) 「八幡東倶楽部♡」の更なる充実、活性化
感動区役所	(4) 証明書コンビニ交付率向上等のPR強化	(1) キオスク端末の操作方法案内動画の制作、多言語化、情報発信 (2) 当サービスなどの利用促進に係る効率・効果的PR、多言語化等
感動区役所	(5) おせっかい区役所	(1) 4つの視点に基づいた具体的な取組を様々な地元団体に提案
人とつながる市民センター	(6) みんなの市民センター	(1) 市民センターの認知度アップと行ってみたくなる市民センターとして情報発信及び講座の充実

課題領域B

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
いきいき地域	(1) 新たな地域の担い手を創出	(1) 学生同士の交流機会の確保 (2) 学生と地域をつなぐ仕組みづくり

課題領域C

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
いきいき地域	(1) 新たな地域の仕組みづくり	(1) 現状の課題や問題点を整理し、先進的取り組みを検証しながら新たな地域の仕組みづくりについて自治総連合会やまちづくり協議会と連携を図りながら検討・協議を行う
人とつながる市民センター	(2) 市民センターの運営体制のあり方の検討・見直し	(1) 総務市民局(地域振興課)と連携した現状の課題や問題点の共有化

【凡例】

○課題領域

A ・行政サービス現場改善にかかる課題

B ・課題の掘り起こし が済み、変革の実行段階にあるもの
・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの

C ・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題

	とどける	みつける	つなげる
共通事項		①★あらゆる 「区民のこえ」の可視化	
ホスピタティ あふれる 市民サービス	②区民に寄り添う、 まちの窓口 〔・子育て世代に やさしい窓口環境 づくり ・外国人にもやさしい 窓口環境づくり〕	③区役所発！行政手続き が見える化・デジタル化 〔・手続き内容の明確化や 電子申請への移行 ・ペーパーレス化と A I 活用の推進〕	④地域とつながる 安心な暮らしづくり 〔 ★地域コミュニティの 再構築 ★市民協働事業の 担い手確保 〕
施設まるごと レベルアップ	⑤まるごと伝える。 まるごと楽しむ。 〔・情報発信や イベントでの連携〕	⑥利用者の声をカタチに、 コムシティ機能を最適化 〔・機能拡充や利便施設の 誘致〕	
働きやすさの アップデート		③区役所発！行政手続き が見える化・デジタル化 ※再掲 ⑦区役所初！ フリーアドレス	⑧挑戦をチカラに！ しなやかな人財デザイン 〔 ・プラチナ・Z P T ・挑戦加点等による 処遇向上 〕

※ ★の取組は、令和6年度からの継続（現時点で未了のもの）

課題領域 A

政策分野	課題名	課題に対する取組
市民サービス向上	区民に寄り添う、 まちの窓口	・子育て世代にやさしい窓口環境づくり ・不安が安心に変わる、外国人にもやさしい 窓口環境づくり
働き方改革	区役所初！ フリーアドレス	・区役所5階フロアでのフリーアドレスの実施
働き方改革	区役所発！行政手続きを 見える化・デジタル化	・手続き内容の明確化や電子申請の移行による 「書かない」「待たない」 「行かなくていい」 区役所の実現 ・ペーパーレス化とA I 活用の推進
官民連携	まるごと伝える。 まるごと楽しむ。	・施設内セクターが連携した情報発信や イベントの実施
官民連携	利用者の声をカタチに、 コムシティ機能を最適化	・利用者が求める機能の拡充や利便施設の誘致
人材育成	挑戦をチカラに！ しなやかな人財デザイン	・プラチナ・Z P Tで挑戦する職員を後押し ・成長に対する「挑戦加点」や、ベテラン職員 に対する「区独自の役割・肩書き」の付与

課題領域B

政策分野	課題名	課題に対する取組
行政の透明性	あらゆる「区民のこえ」の可視化	・区独自の「市民のこえ」のデジタル化の本格実施

課題領域C

政策分野	課題名	課題に対する取組
地域社会	地域とつながる 安心な暮らしづくり	・地域コミュニティの再構築 ・市民協働事業の担い手確保

- 【凡例】
- 課題領域
- A ・行政サービス現場改善にかかる課題
- B ・課題の掘り起こし が済み、変革の実行段階にあるもの
- ・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの
- C ・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題

課題領域 A

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
行政サービス	(1)効率的な行政サービスの周知	・DXを活用した効率的な行政サービスについて 区独自の広報で分かりやすく周知を図る
行政サービス	(2)窓口業務の応援体制整備	・職員スキルの活用による課を超えた業務応援 体制づくり

課題領域 B

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
若い世代の居場所づくり	(1)気軽にあつまり交流できる場としての区役所づくり	・若者が集う居場所づくりを順次実現
多世代・地域交流の仕掛けづくり	(2)「歩いて楽しいウォーカブルなまち」としての回遊性向上と賑わいの創出	・中央通り周辺を活用した賑わいづくりの試行実施 ・若い世代のアイデアを取り入れ地域等の協力のもと公園での実証実験
多世代・地域交流の仕掛けづくり	(3)戸畑区の賑わいづくりの担い手ネットワーク構築	・関係機関とのつながりづくりの機会の提供 ・若い世代の担い手の発掘、人材育成
幅広い層への区の魅力発信	(4)まちの魅力の効果的な発信	・多様なまちの魅力を幅広く効果的な情報発信

課題領域 C

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
多世代・地域交流の仕掛けづくり	(1)中本町地区などにおける土地利用にかかる検討と市街地再開発の気運醸成	・地区の住民など関係者との意見交換等を実施

【凡例】

○課題領域

A ・行政サービス現場改善にかかる課題

B ・課題の掘り起こし が済み、変革の実行段階にあるもの

・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの

C ・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題

課題領域 A

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
人材育成／組織運営	(1)若手職員の育成と柔軟な発想の活用	(1)「消防未来創造プロジェクトチーム」の設置

課題領域 B

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
救急	(1)増加を続ける救急需要の対策	(1)救急体制の再構築
警防	(2)消防業務のDX推進	(1)紙媒体の情報のデジタル化及び閲覧システムの検討
人材確保／働き方改革	(3)持続可能な消防体制の確立	(1)採用試験のさらなる検討 (2)職員の提案を活かした持続可能な組織づくり

課題領域 C

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
火災予防	(1)木造建築物が密集する地域に対する火災予防対策	(1)地域・警察・消防が一体となった火災予防対策の継続 (2)VRなど新たな啓発手法を導入した火災予防対策の推進 (3)他都市における木造密集地域解消の先行事例調査
消防体制整備	(2)小倉南区内の消防体制の再整備	(1)小倉南消防署建て替えに向けた整備方針の検討

【凡例】

○課題領域

A ・行政サービス現場改善にかかる課題

B ・課題の掘り起こし が済み、変革の実行段階にあるもの
・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの

C ・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題

課題領域 A

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
上下水道	(1)老朽化に伴う危険個所の早期発見のための新技術の活用	(1)衛星画像とAIを活用したした水道管の漏水調査及びドローン等を活用した下水管渠の点検調査の実施

課題領域 B

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
上下水道	(1)株式会社北九州ウォーターサービスとの連携強化	(1)政策連携団体としての役割に関する再定義等

課題領域 C

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
上下水道	(1)将来にわたる上下水道事業の健全経営やサービス水準維持の実現(経営環境の変化への対応)	(1)持続可能な上下水道事業の構築の検討(ウォーターPPPや包括委託などの導入検討)

【凡例】

○課題領域

A ・行政サービス現場改善にかかる課題

B ・課題の掘り起こし が済み、変革の実行段階にあるもの
・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの

C ・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題

課題領域 A

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
局全体	(1) 人事・給与関係業務等のDX化・標準化	(1) DX化可能業務の更なる洗い出し (2) DX推進部署の知見を得ながらの業務改善 (3) 属人的要素の強い業務の標準化・一般化
局全体	(2) 執務環境等の改善	(1) ペーパーレス化の推進、保管文書の縮減 (2) プラチナ市役所プロジェクト結果を踏まえ執務環境等の改善

課題領域 B

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
事業経営	(1) 持続可能な交通事業の構築	(1) 次期市営バス事業経営計画の策定 (2) 有識者等による検討会で示された意見を踏まえた取組（運転者確保、効率的な路線のあり方など）を順次実施 (3) 運転者を含む交通局全職員の経営意識の共有 (4) 「市民の生活の足」を守り続ける「市営バス」としてのプレゼンス向上

課題領域 C

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
局全体	(1) 施設・車両の老朽化対応	(1) 収支均衡（黒字化）に向けた経営改善 (2) 市の施策にかかる補助金の活用 (3) 財政基盤を整える枠組みの協議

【凡例】

○課題領域

A ・行政サービス現場改善にかかる課題

B ・課題の掘り起こしが済み、変革の実行段階にあるもの

・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの

C ・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題

課題領域A

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
公営競技	(1)売上向上による市財政への貢献	・ミッドナイトボートレースの開催時間拡大 ・防風対策の実施

課題領域B

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
公営競技	(1)ファンや地域に愛されるレース場づくり	・ボートレースパーク化の推進 ・魅力あるボートレース場の整備 ・本場入場者数の増加策の検討

課題領域C

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
公営競技	(1)社会的要因等（国の経済の衰退、大規模災害発生時）への対応	・事業継続への備え（資金の確保、中央団体との連携等）

【凡例】

○課題領域

A ・行政サービス現場改善にかかる課題

B ・課題の掘り起こし が済み、変革の実行段階にあるもの

・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの

C ・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題

課題領域 A

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
業務改善	(1)学校からの各種連絡のDX化	・会議受付業務のDX化 ・WEBを利用したオンライン報告システムの構築 ・各種届出および調査回答のDX化
業務改善	(2)いじめ事案への適切な対応について	・いじめ対応に係る研修の整備・実施 ・記録等の帳票見直しと作成の徹底 ・WEBを利用したオンライン報告システムの構築
教育環境 (ソフト)	(3)学び、やすらぎ、つながる図書館	・基本目標1:学びを支え、豊かなときを創造する図書館 (市民のスキルアップ等のニーズに応える取組、子どもや若者が図書館に行きたくくなるような取組を行う) ・基本目標2:誰もが利用しやすく、やすらげる図書館 (市民の利用環境向上のためWi-Fi整備を行う) ・基本目標3:多様な主体とつながり、共に成長する図書館 (図書館との出会いの機会を創出するため周辺施設と連携する) ・基本目標4:未来につなぐ図書館 (読者のニーズに応えるため、雑誌スポンサー制度を継続活用する)
業務改善	(4)市立高等学校におけるスマートフォン導入による校内連絡体制の見直しと最適化	・スマートフォン内線化及び運用整備

課題領域 B

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
教育環境 (ソフト)	(1)小規模校特別転入学制度の見直し	・制度の改正および令和8年度転入学者の決定に向けた手続き
業務改善	(2)教職員の負担軽減に向けた業務の見直しと環境整備	・業務改善プログラム(第4版)策定のための準備と実行 ・電話対応業務の改善
教育環境 (ハード)	(3)学校体育館への空調整備の検討	・整備方針の協議

課題領域B

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
教育環境 (ソフト・ハード)	(4)学びの多様化学校開校による不登校対策の更なる充実	・令和9年4月開校に向けた有識者会議の設置 ・教育センター(八幡西区相生町)の一部改修に係る基本・実施設計等
教育環境 (ハード)	(5)図書館における施設の老朽化・維持管理コストの増大などの課題	・「個別施設計画」及び「法的改善計画」に基づく改修等の設計・工事検討 ・門司港地域複合公共施設運営等に係る関係局等との協議・検討

課題領域C

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
局全体	(1)新たな時代の教育デザインの構築	・北九州市型みらい教育デザインの推進

【凡例】

○課題領域

A ・行政サービス現場改善にかかる課題

B ・課題の掘り起こし が済み、変革の実行段階にあるもの

・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの

C ・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題

課題領域 A

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
監査	(1) 監査事務の重点化	・リスクアプローチ監査・3E監査へのシフト

課題領域 B

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
人事	(1) 将来の市政を担う人材の確保ができる採用試験の見直し	(1) 採用試験の見直しに向けた調査・検討(特に人材確保が困難な土木職について) (2) リクルート活動
選挙	(2) 選挙事務(投票所)の人員配置の見直し(各局区の所属割当てへ変更)	・令和7年の参議院選挙での実証、令和9年の市長選から段階的实施に向けた各種作業

課題領域 C

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
選挙	(1) 若者世代(20代)の投票率の向上	・若者世代の投票率向上に向けた取組

- 【凡例】
- 課題領域
 - A ・行政サービス現場改善にかかる課題
 - B ・課題の掘り起こし が済み、変革の実行段階にあるもの
 - ・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの
 - C ・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題